

「蛍光指紋連続体」技術の確立に向けて

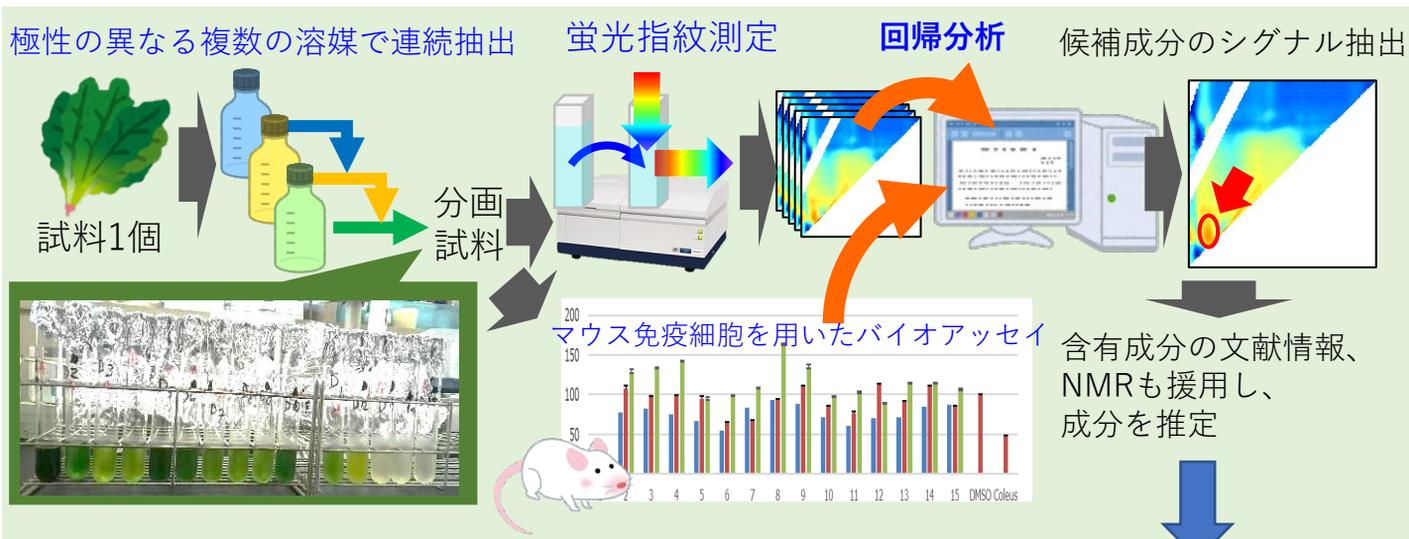
— 農産品の品質評価を迅速化する分光学的網羅解析技術 —

成果の特徴

- 蛍光指紋技術は安価・簡便に膨大な成分情報を取得できるため、食品の品質評価などへの活用が期待されます。しかし、試料を多数必要とし、前処理条件の検討にかかる労力が大きいなどの課題がありました。
- 蛍光指紋連続体は網羅的抽出により蛍光指紋を拡張し、取得情報の質・量を向上させることで、上記課題を改善します。

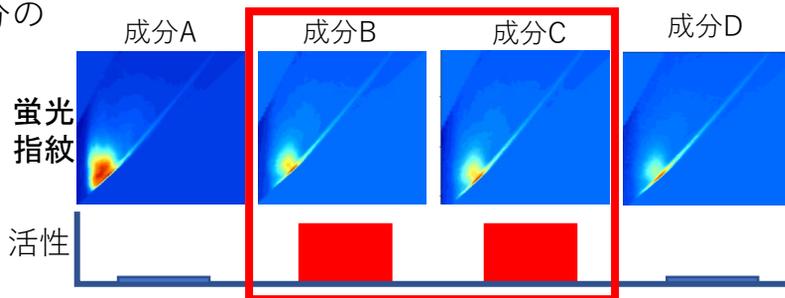
成果の内容

蛍光指紋連続体技術の実施例 (ハーブの免疫調節成分の探索)



抽出シグナルから推定された成分の
蛍光指紋、活性評価により

**免疫系のように多様な細胞が
関与する生理機能への関与成分
を見出すことができた**



蛍光指紋連続体の技術を利用して、機能性などの品質に関与する成分の同定やその成分に関わるシグナル測定による簡易な品質評価が可能になる

成果の活用

令和4年度「イノベーション創出強化研究推進事業」課題に採択

参考

・ 関連特許：後藤真生、石川祐子、蔦瑞樹、特開2020-076612

※「知の集積と活用の場」食品加工から考える健康プラットフォームで実用化に取り組み中